

伝える力でズレない開発成功体験を

Kachitto

ホワイトペーパー

Version 1.0

01. サービス概要

02. 開発ロードマップ

「何を作るか」が曖昧なまま進むプロジェクトは
どんな優秀なエンジニアがいても成功しません。

Kachittoはその最初の一步を
誰でも迷いなく踏み出せるようにするツールです。

“伝える力で、ズレない開発成功体験を”
“終わらないを終わらせる”

— それが私たちのミッションです。

1. はじめに

Kachittoは、発注者と開発者の“壁”を解消するために生まれた、AI駆動の要件定義自動化ツールです。

開発の失敗は技術力ではなく、「最初のズレ」によって起こります。私たちはその上流工程こそ、最も変革が必要だと考えています。

2. サービス概要

■ 「企画書・要件定義をAIで構造化」

- ・ ヒアリング形式で入力するだけで企画書や要件定義書を自動生成
- ・ 非IT人材でも使える直感UI
- ・ 作成した資料は共有・共同編集可能

■ 発注者のメリット

- ・ 言語化が難しい要望も、構造的な資料に変換
- ・ 追加工数や手戻りのリスクを事前に削減
- ・ 開発会社との合意形成がスムーズに

■ 開発会社のメリット

- ・ 初期ヒアリング工数の大幅削減
- ・ 抽象的な要望の構造化・リスク洗い出しが容易に
- ・ 仕様ブレによる炎上リスクを軽減

3. 解決する課題

発注者の悩み

- 要望がふわっとしていて伝わらない
- 説明資料が作れず開発が進まない
- 開発会社との言葉の壁

受注者の悩み

- 要件定義に時間がかかりすぎる
- ヒアリング工数が読めない
- プロジェクトがズレたまま走り出すリスク

➡ Kachittoは、発注者と受注者の“伝える・汲み取る”を支援し
共通言語としてのドキュメントを生み出します。

4. ユースケース・ペルソナ

発注側：企画マネージャー（松岡さん）

「アイデアはあるけど、説明がうまくできない。見積もりを出してもらってもズレてしまう。」

➡ 入力フォームに沿って記入するだけで、構造化された企画書が完成。

受注側：プロジェクトマネージャー（佐藤さん）

「要望が抽象的で工数が読めない。要件定義フェーズで疲弊している。」

➡ 企画書をもとに議論をスタートでき、リスクポイントを早期に洗い出せる。

5. プロダクトの価値

- **コスト削減**

要件定義にかかる社内外のヒアリング・資料作成コストを大幅に削減

- **要件のズレを防ぐ**

「言った・言わない」や、開発中の手戻りを予防

- **プロジェクトの成功確度を上げる**

要件定義がしっかりしていれば、後工程はスムーズに進む

- **誰でも使える簡易性**

技術用語不要。業務知識があれば設計できる

開発ロードマップ

5月下旬	LP公開 - ベータユーザー募集開始
6月	ベータ版公開 クライアント企業による企画書自動生成機能を先行公開
7月	共同編集機能追加 開発会社とドキュメントの共同編集
8月	提案機能追加 開発会社が共有された資料に対して提案を送信可能に
9月	他資料との一元管理・コメント・履歴管理対応